



2月の園だより

平成 31 年 2 月 1 日

まだまだ寒い日が続きますが、園には毎日子ども達の元気な笑い声があふれ、まるで一足先に春がきたように感じられます。

空気の乾燥が気になる時期、風邪やインフルエンザの予防に十分に配慮しながら、過ごしていきたいと思えます。

【成長展】

日 時：2 月 16 日（土） 全クラス
9：00～11：00 成長展及び懇談会
先日ご案内しました通り、今年度最後の親子参加型行事になります。是非、親子で参加され、お子さんの成長を感じていただければと存じます。

【お知らせ】

3 月 30 日（土）は新年度準備のため、お休みのご協力をお願いします。延長保育は行いません。

【お知らせ】

節分の際に豆をお配りしておりましたが、気道に豆が詰まる事故が多発しているため、今年度より節分の豆のお土産はありません。

【避難訓練】

1 月 21 日（月）火災による避難訓練を行いました。

《ご意見・ご要望》1 月は特にありませんでした。

SAKURA COLUMN

♪仲間♪

昔は「赤ちゃんから保育所に預けてかわいそう」という風潮がありましたが、今は「赤ちゃんから保育所に行けていいね」と言われる時代です。それは、赤ちゃんの頃から集団保育が必要であるとわかってきたからです。当園が実践している藤森メソッドの藤森先生曰く、「私たちの祖先といわれるホモサピエンスは、集団を形成することで生き残ってきた。そして原始の時代から子どもは集団で保育されていた。人間は社会の中で生きていくもの。母子関係のみの孤立した環境では発達が遅れる。核家族化している現代では、赤ちゃんから集団保育が必要。」アメリカの心理学者ハリス氏も「母親には仲間の代わりはつとまらないが、仲間は母親の代わりにもなり得る。文化は子どもたちの仲間集団を通じて伝えられる。」と言っています。赤ちゃんは多様な人との関わりの中で多くを学んでいるのです。

保育料の引き落とし日は 2 月 15 日です。

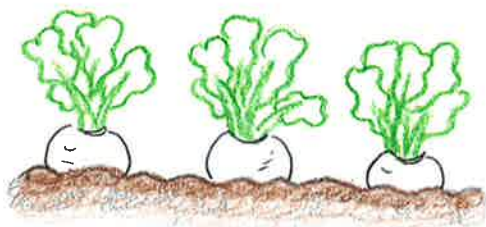
【2月の予定】

月	火	水	木	金	土
				1 節分 誕生会	2
4	5 潮見小学校訪問 (月) わくわく広場	6	7 絵画教室 (星) わくわく広場	8 交通安全教室 (空クラス)	9
11	12 英会話教室 (月)	13	14 体育教室 (月・雪)	15	16 成長展 (全クラス)
18	19 わくわく広場	20	21 わくわく広場	22	23
25 絵画教室 (月)	26 英会話教室 (月) わくわく広場	27 お別れ会	28 体育教室 (月・雪) わくわく広場		

今後の主な予定

★3 月 1 日（金） 誕生会・ひなまつり

★3 月 17 日（日） 卒園式・・・月・雪組



食育



子どもたちの食事は、3才未満児は保育者が子ども一人ひとりの状態を把握して配膳しています。3才以上児はセミバイキング形式を取り入れています。これはお当番さんに自分が食べられる量を伝えてよそってもらう方法です。バイキング=好きなものを好きなだけ食べるイメージがありますが、すべてのおかずを盛り付け、食べきるようにするという約束があります。今回はこの形式を通しての子どもたちの育ちをお伝えします。

「セミバイキング」から見える育ちとは

- ・自分で食べる量を考えることができるようになる。
- ・小さな責任感と、完食した達成感を味わうことができ食べる意欲が育つ。
- ・多い、少ないなど数や量の感覚を、体験を通して身につけていく。
- ・異年齢での友だちと共に食べることで、よりいっそうの楽しさを味わう。

…などいろいろあります。



ランチタイムのひとこま

★汁物を床にこぼしてしまった星組のAちゃん。年上の子どもたちがしているのを日頃見ていたので、自分で雑巾を持ってきて拭いていました。それを見て手伝い始めたB君。こぼしたら自分で拭くという小さな責任感と、友達を助けようとする優しさが見えた場面でした。

★おかわりは自分でよそっています。お玉杓子を持つ手も真剣で、慎重です。おかわりが長い列になることもあり、「たくさん注ぎ過ぎ」「残しておいてね」とにぎやかです。時にはおかわりがなくなって、がっかりしながら席に帰っていく姿も見られます。譲り合ったり我慢したりしているのですね。



* セミバイキング形式で心配なことは、必要な栄養が摂れているかということです。食育アンケートでもご意見をいただきました。このことについては日頃の体調や食べ方、身体測定、カウプ指数での発育状況を職員間で共有し、一人ひとりに配慮しています。写真や動画でお知らせすることもできます。担任にお気軽にご相談ください。

* 「いつでも給食体験会」…ご利用日一週間前までにお知らせいただければ、いつでもご利用できます。(一食 300円)

食べることはただ食べ物から栄養を摂るだけではなく、ともだちや先生と一緒に楽しく食べることで心と体の両方の栄養になります。

『これからも子どもたち一人ひとりの食育活動を大切にしていきます。』



ほけんだより

2月号



平成31年2月1日
みなとこども園

2月3日は節分です。子どもたちの「鬼は外！ 福は内！」の元気な豆まきの声が聞こえてきます。子どもたちの中にあるウイルスや細菌が全て体の外に出ていきますように。そして成長とともに子どもたちが丈夫で健康な体になるように祈っています。

●○インフルエンザ○●



**インフルエンザに
なってしまったら…**
まずは医療機関にかかり、インフルエンザかどうか診断してもらいましょう。高熱や下痢が続くと脱水症状を起こしやすくなるので、こまめな水分補給が大切です。園は集団生活の場です。インフルエンザは感染力が強いので、発症した後5日を経過し、かつ、熱が引いてからも3日間は登園を控え、しっかりと自宅療養しましょう。

インフルエンザとかぜの違い

インフルエンザとかぜの違いは、主にウイルスの種類と症状です。違いを知って、初期症状の段階で適切な処置ができるようにしましょう。

	インフルエンザ	かぜ
感染力	強い	強くない
初期症状	強い寒気、頭痛、悪寒	くしゃみ、鼻水、喉の痛み
発熱	急性 (39~40℃)	徐々に上がる (37.5℃)
筋肉痛	全身(腰、関節、筋肉など)	軽い
くしゃみ、鼻水	後から少しある	最初からある
咳	強い	軽い
目の充血	しばしばある	あまりない
経過	やや長引く	短期間で治ることが多い
免疫	3~4ヵ月	短期間

薬の飲ませ方

シロップ

薄めずにそのまま飲ませます。乳児は必要な量をスポイトやスプーンで取り、口の中に入れましょう。

粉薬

- 水で溶く場合
少量の水か、ぬるま湯で薬を溶かします。飲ませる時はスプーンやスポイト、おちょこなどを使いましょう。
- 直接口に入れる場合
開いた状態の口の中に直接粉薬を入れます。
- 練る場合
小さな器に粉薬を入れ、数滴の水をたらし、だんご状に練ります。練った薬は頬の内側あたりに塗ります。

どの飲ませ方をした場合も薬を飲んだ後は水や湯冷ましを飲ませましょう。

食品に混ぜる時は

オレンジジュース、りんごジュース、スポーツドリンク、ヨーグルトなどの酸味がある物は薬によっては混ぜることができません。食品に混ぜる場合、残してしまうこともあるので、薬を混ぜる時の量は少なめにしましょう。また、ミルク、おかゆなど、主食には混ぜないようにしましょう。味の変化で食べ物自体を嫌いになってしまう可能性があります。

